

ユーザーマニュアル

Elo Touch Solutions
3243L IDL/4243L タッチディスプレイ



Copyright © 2016 Elo Touch Solutions, Inc. 無断複写・転載を禁じます。

事前にElo Touch Solutions, Inc.社の許可書を取得しないで、本書のいかなる部分を電子、磁気、光学、化学、手動などで複製、送信、転写、情報検索システムに記録、あるいはいかなる言語あるいはコンピューター言語などへの翻訳などは、いかなる形態あるいはいかなる方法でも禁止されています(但し、必ずしもこれらに限定されません)。

責任放棄声明

この文書に掲載された情報は、予告なしに変更されることがあります。Elo Touch Solutions, Inc.及びその関連会社(まとめて、「Elo」と呼ぶ)では本書の内容に関して明言あるいは保証、特に、特定目的の暗黙の商品性あるいは適切性の保証はしません。TEは時折本書掲載内容を改訂あるいは変更する権利を有しており、その際、TEはそのような改定あるいは変更に関する通知をする責任はありません。

登録商標承認

AccuTouch、CarrollTouch、Elo(ロゴ)、Elo Touch、Elo Touch Solutions、Elo TouchSystems、IntelliTouch、iTouchSecureTouch、TouchTools、VuPointはEloおよびその関連会社の商標です。WindowsはMicrosoft Corporationの商標です。

もくじ

第1章 - はじめに	4
第2章 - インストール	5
第3章 - 取り付け	8
第4章 - 操作	14
第5章 - 技術サポート	21
第6章 - 安全&保守	23
第7章 - 規制情報	25
第8章 - 保証情報	28

第1章 – はじめに

製品説明

お買い上げいただいたタッチディスプレイは **Elo Touch Solutions** タッチ技術の最新開発と表示設計の信頼できる性能を実現します。このような機能を組み合わせることによってユーザーとタッチディスプレイ間で情報が自然に流れるようになります。

このワイドスクリーンタッチディスプレイは **24** ビットカラー・カラーアクティブ・マトリックス薄膜トランジスタ (TFT) 液晶ディスプレイ (LCD) パネルを組み入れ、高品質ディスプレイ性能を提供しています。フル **HD** 解像度 **1920 x 1080** はグラフィックや画像の表示に適しています。 **LED** バックライトは電力消費を大幅に節減し、水銀を取り除きます (**CCFL** バックライトパネルと比較)。本 **LCD** モニターの性能を強化する機能として、**プラグ&プレイ** の互換性および **OSD** (オンスクリーンディスプレイ) 制御があります。

注意事項

装置をより長く使用してユーザーの安全性に関する危険を防止するため、本取扱説明書の全ての警告、注意、保守手順を遵守してください。詳細情報については、**安全&保守**の章をご参照ください。

本説明書には装置の適切なセットアップと保守に関する大切な情報が掲載されていますので、特に、インストール、取り付け、操作の章を注意してお読みになられてから、タッチディスプレイをセットアップして電源を入れてください。

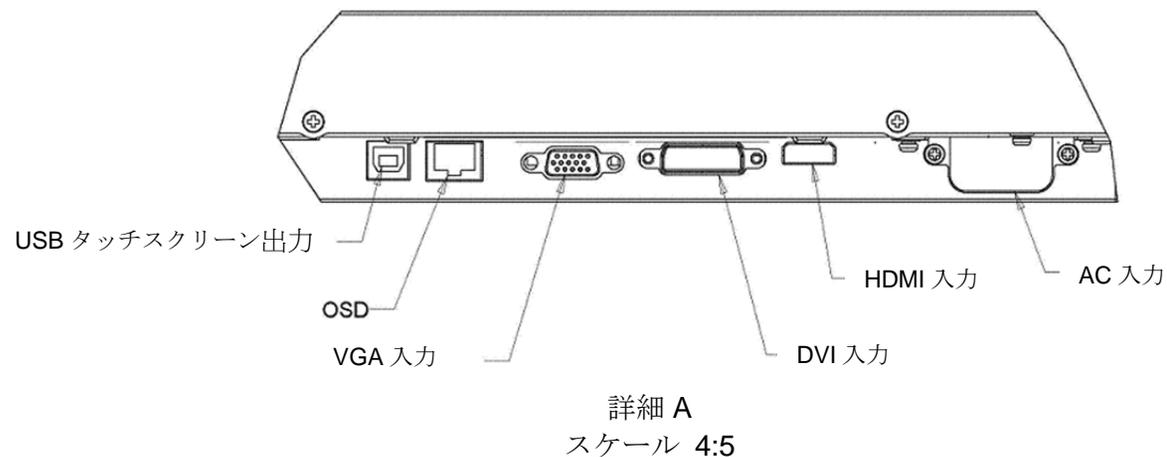
第2章：インストール

タッチディスプレイの開梱

箱を開けて、以下の品目があるか確認してください。

- タッチディスプレイ
- ユーザーマニュアルCD
- 取り付けブラケット
- クイックインストールガイド
- VGAケーブル
- HDMIケーブル(ETX243L-XXWAモデルのみ)
- DVIケーブル(ETX243L-XXAAモデルのみ)
- USBケーブル(ETX243L-0NXXモデルには使用できません)
- 海外仕様電源ケーブル
- 規制情報のパンフレット(日本語)

コネクタパネル & インターフェース



注記 : DVI または HDMI は特定のモデルのみご利用いただけます。

タッチディスプレイ接続

1. ホストコンピュータからビデオケーブルをモニターと接続してください。VGA ケーブルの場合はビデオケーブルのネジを締めると最高の性能をお楽しみいただけます。
2. モニターの USB コネクタと PC の USB ポートを USB タッチケーブルで接続してください (ノータッチモデル以外には使用できません)。
3. 電源ケーブルをモニターの入力電源ジャックと AC 電源出力に接続してください。
4. タッチディスプレイはオンの状態で出荷されます。

タッチ技術ソフトウェアドライバのインストール

Windows 7 および Windows 8 オペレーティングシステムを使用する投影型静電容量タッチディスプレイの場合、追加ドライバーは不要です。Windows HID ドライバーを使用します。

最新のタッチドライバーをダウンロードするには

1. www.elotouch.com/Support/Downloads/Driver/DriverDownload/Default.aspx にアクセスします。
2. 「**Operating System**（オペレーティングシステム）」ドロップダウンメニューから、オペレーティングシステムを選択します。
3. 「**Technologies**（技術）」ドロップダウンメニューから、技術を選択します。
4. お使いのタッチディスプレイに必要なドライバーのバージョンをクリックします。
5. 「**Accept**（受入）」をクリックすると、「**Driver License Agreement**（ドライバーライセンス契約）」ページにリダイレクトされます。
6. メールアドレスを入力し「**Next Step**（次のステップ）」をクリックします。ドライバーのダウンロードが自動的に開始されます。
7. 新規ユーザーである場合は、必須情報を入力し、「**Register**（登録）」をクリックしてください。ドライバーのダウンロードが自動的に開始されます。

第3章：取り付け

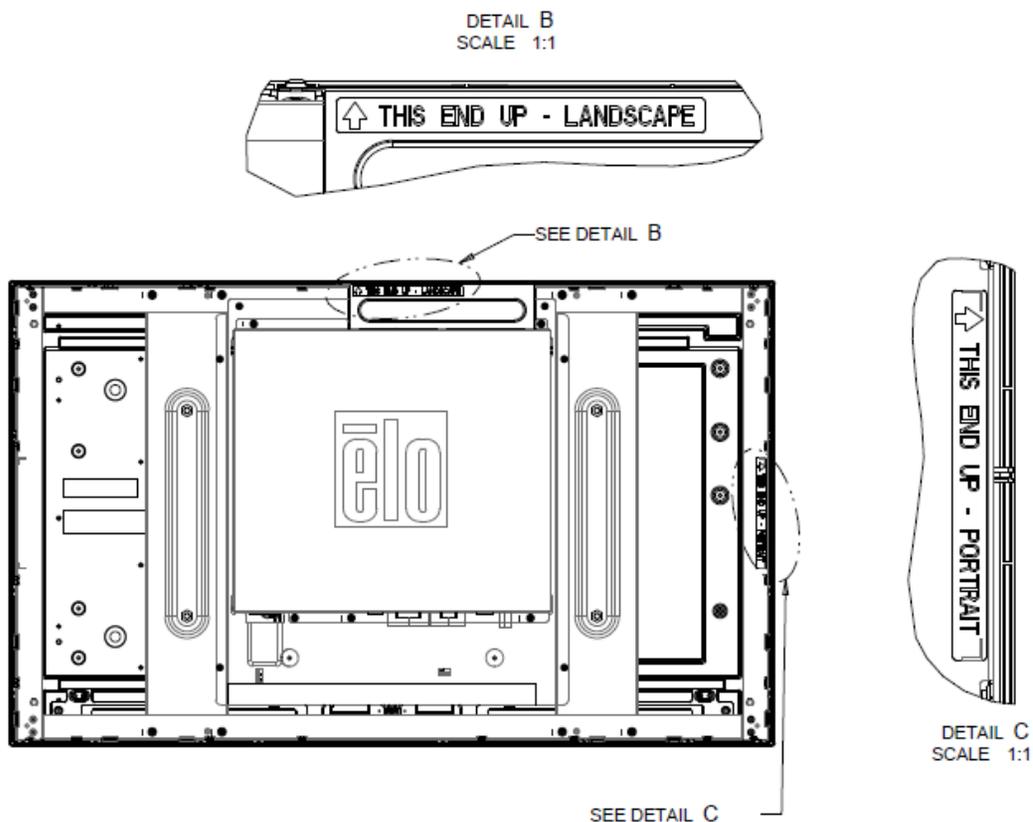
取り付けに関する一般情報

OSD テキストは、取り付けの位置に合うように OSD メニュー内で、縦画面モードと横画面モードの間を移動することができます。

縦画面モードおよび横画面モード

Elo 部品番号 E304029、E326003、E326202 および E326398 の場合:

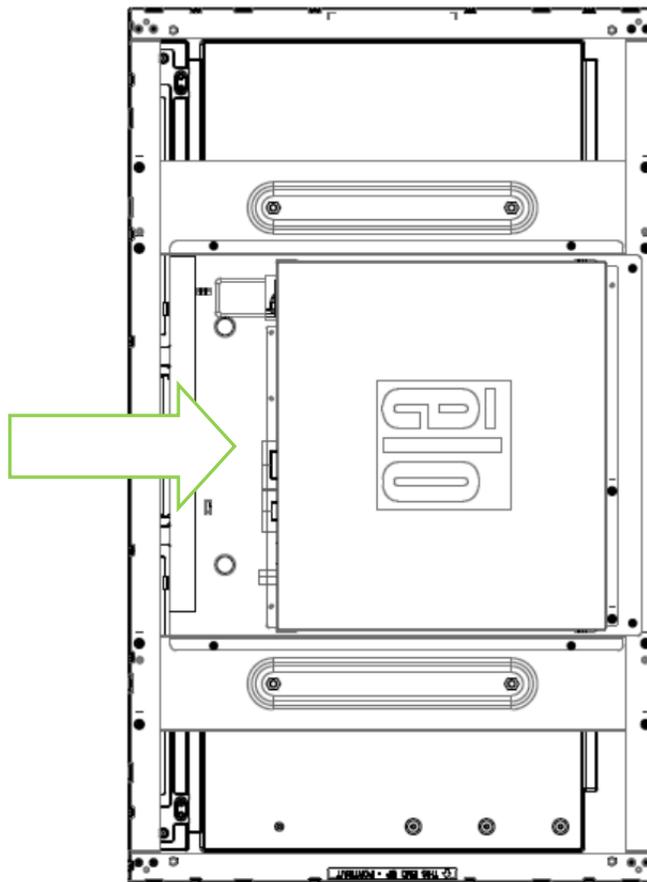
モニターは、次の図に従い、縦画面モードまたは横画面モードにのみ取り付けることができます。THIS END UP (この一端を上にする) ステッカーが上を向くようにしてください。



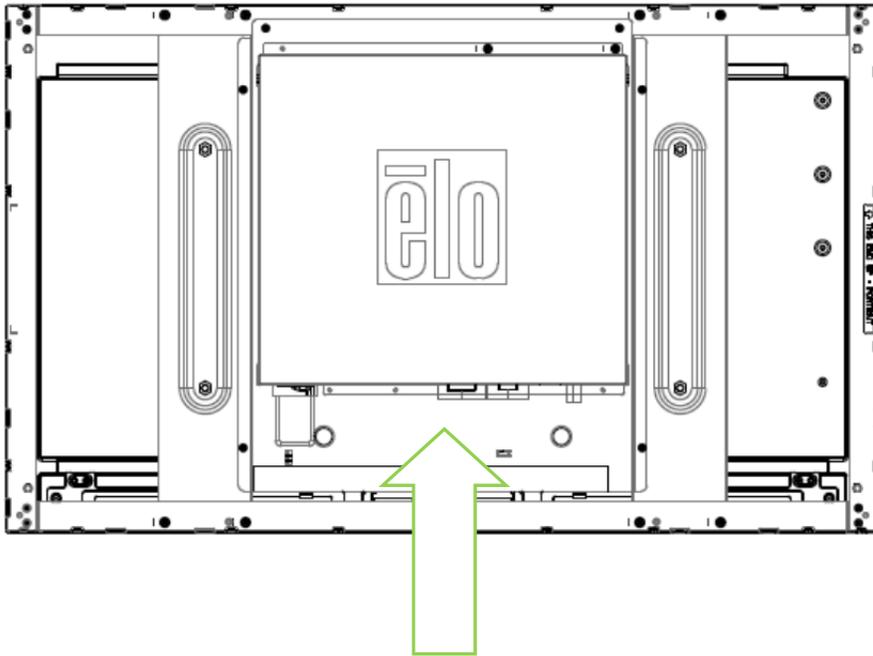
Elo 部品番号 E220625、E589724 および E444804 の場合:

縦画面モードは、90度の向きでのみ取り付けることができます。この場合、次の図に示す通り、背面の Elo ログが右に回転し、ケーブルは左側から接続されます。

こちら側からケーブルを挿入し



横画面モードは、0度でのみ取り付けることができます。この場合、次の図に示す通り、背面の Elo ログは回転せず、ケーブルは下側から接続されます。

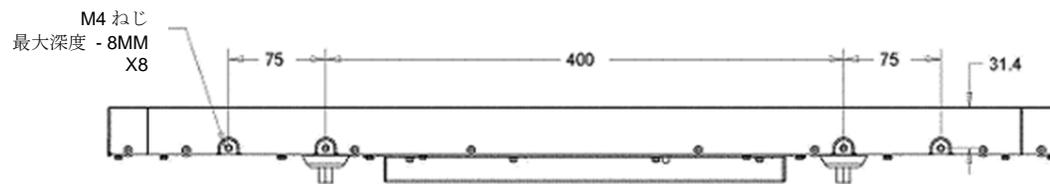


こちら側からケーブルを挿入します

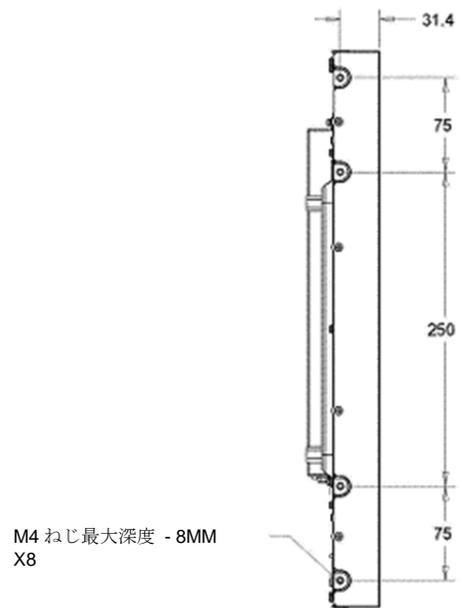
サイドブラケットの取り付け

ネジ穴はモニターの側面にありますので、付属のブラケットを使って取り付けてください。

ET3243L

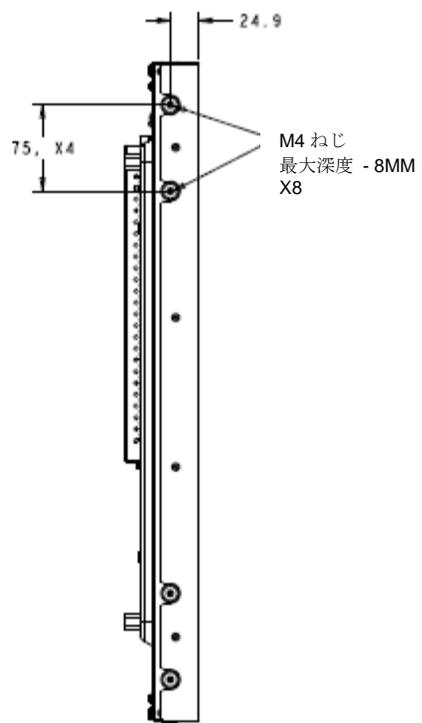
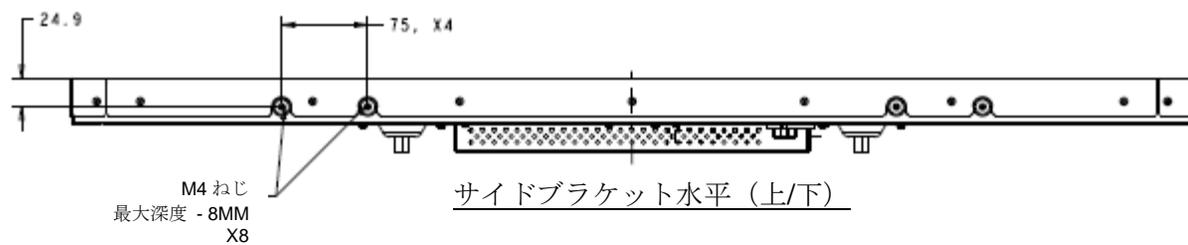


サイドブラケット水平 (上/下)



サイドブラケット垂直 (左/右)

4243L モニターの場合 :



サイドブラケット垂直 (左/右)

裏面VESA取り付け

ET3243L モニターの場合：

M6 ネジ用穴 400x200mm の 4 個が付いている取り付けパターンがモニターの裏面にあります。VESA FDMI 準拠の順番は次のようにコード化されています：
：VESA MIS-F、400、200、6。

4243L モニターの場合：

M6 ネジ用穴 400x400mm の 4 個が付いている取り付けパターンがモニターの裏面にあります。VESA FDMI 準拠の順番は次のようにコード化されています：
：VESA MIS-F、400、400、6。

寸法図に関しては、www.elotouch.com をご参照ください。

第4章：操作

電力

タッチディスプレイの電源をオン/オフにするには、OSD コントロールのタッチディスプレイ電源ボタンを押します。

OSD コントロール機能の電源ステータス LED は以下の表のように機能します：

タッチディスプレイ/コンピュータモジュールの状況	LED 状況
OFF (オフ)	OFF (オフ)
SLEEP (スリープ)	PULSING (パルシング)
ON (オン)	ON (オン)

システムがスリープモードまたはオフモードの場合は、消費電力は低くなります。電力消費仕様についての詳細は、Elo 社ウェブサイト：www.elotouch.com の技術仕様をご参照ください。

画面にタッチすると、ホスト PC を SLEEP (スリープ) モードから覚まします (マウスを動かしたりキーボードのキーを押したりするのと同様)。

信頼性を増し無駄な消費電力を減らすには、長い間使用しない場合はモニターから AC 電源ケーブルを外してください。

タッチ

タッチディスプレイの校正は工場で行われているので、その必要はありません (入力ビデオがネイティブ解像度に完全に調整されていなかった場合、タッチ経験を特定のユーザーに合わせて校正しなければならない場合は除く)。

IntelliTouch Plus タッチスクリーン技術

Windows 7 または 8 コンピューターに接続すると、タッチディスプレイはタッチポイント 2 ヶ所を同時に検知します。IntelliTouch Plus タッチスクリーンは必要であれば、Elo ドライバーのコントロールパネルの校正機能を通して表示ビデオ画像に再校正できます。ドライバーは Elo Touch のウェブサイトからダウンロードできます。

IntelliTouch Plus タッチスクリーンは必要であれば、Elo ドライバーのコントロールパネルの校正機能を通して表示ビデオ画像に再校正できます。

ユーザーマニュアル：43L シリーズ

すべてが **IntelliTouch Plus** タッチ技術を使用する場合、**IntelliTouch Plus** ドライバーはマルチモニターのみに対応します。

更なる構成オプションについては、**EloConfig** デスクトップのショートカットをダブルクリックして、**Elo** タッチスクリーンのコンフィグレーションスクリーンを開けます。



投影型静電容量タッチ技術

Windows 7 または **8** コンピューターに接続した場合、タッチディスプレイは、同時に **10** 件のタッチを報告することができます。**Windows XP** コンピューターに接続した場合、タッチディスプレイは、**1** 件のタッチのみを報告します。

Windows 7 および **8** を使って動作する場合、この技術は、追加ドライバーは不要です。これは、**Windows HID** ドライバーを使用します。

Windows XP 用のタッチドライバーのダウンロード手順については、第 2 章の「タッチ技術ソフトウェアドライバーのインストール」のセクションを参照してください。

この技術に対する校正は不要です。

ジェスチャーの対応

IntelliTouch Plus および投影型静電容量タッチ技術によって 1 点タッチやマルチタッチに対応する複数のジェスチャーが可能になります。**Windows 7** および **Windows 8.1** に対応するさまざまなジェスチャーについては、**Microsoft** のウェブサイト <http://msdn.microsoft.com/en-us/library/dd940543> をご参照ください。

ビデオ

表示のネイティブ解像度は縦と横の寸法を画素数で表示しています。一般的に、最高の性能をお楽しみいただくためには、このモニターのネイティブ解像度 **1920 x 1080** ビットとコンピューターの出力解像度が一致すると、このモニターに表示の画像を最高の状態でご覧いただけます。

ネイティブ解像度以外のコンピュータ出力解像度の場合、モニターはパネルのネイティブ解像度にビデオを拡大します。

このためには、入力画像を必要に応じて X 軸と Y 軸の寸法を拡大・縮小することで表示のネイティブ解像度を調整します。コンピュータの出力ビデオ画像をモニターの表示に合うように拡大する場合、拡大アルゴリズムによる副産物は必至であり、画像忠実度が失われます。近距離で機能豊富な画像を見ると、画像忠実度の損失が最も顕著に現われます（例えば、フォントが小さな文字が入っている画像など）。

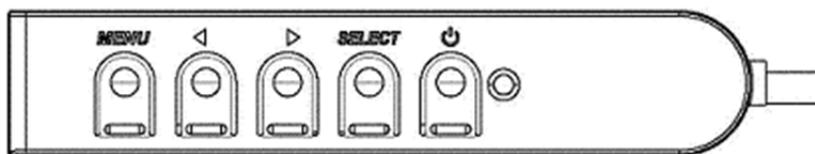
タッチディスプレイのビデオ調整はたぶん必要ありませんが、アナログ VGA ビデオの場合、タッチディスプレイの表示画像質を最適化するにはユーザーはビデオグラフィックカードの出力変化によって OSD を通じて調整が必要になる場合があります。これらの調整はタッチディスプレイが「記憶」します。また、ビデオモードのさまざまなタイミングを調整する必要性を減らすために、モニターはビデオ業界で最も一般的なビデオタイミングモードに正しく調整して、表示します。ビデオモードのプリセットリストに関しては、<http://www.elotouch.com> で本モニターの技術仕様をご参照ください。

製品の最適なレベルでの動作を維持するために、製品の使用サイクルを 24 時間ごとに 18 時間に制限してください：

使用デューティサイクル

24 時間ごとに 18 時間

Elo は、コンテンツ管理システムおよび/または O/S のスケジュール設定および/または EloView コマンドを使用して、デューティサイクルを管理することを推奨します。これにより、モニターの寿命を通じて省電力とトラブルのない運用が可能になります。



オンスクリーンディスプレイ (OSD)

配線コントロールボックスには OSD ボタンが 4 つあります。これらのボタンでさまざまな表示パラメーターを調整します。

ボタンとその機能は以下の表の通りです。

ボタン	OSD が表示されていないときの機能：	OSD が表示されているときの機能：
メニュー	OSD の主要メニューを表示	前の OSD メニューに戻る
◀	OSD 輝度を表示するサブメニュー	選択したパラメーター値を増やす/前のメニュー項目を選択する
▶	OSD コントラクトを表示するサブメニュー	選択したパラメーター値を減らす/次のメニュー項目を選択する
選択	入力選択	調整パラメーターを選択する / サブメニューを選択して入力する

OSD ボタンを使って入力ビデオの上に表示するオンスクリーンのグラフィカル・ユーザー・インターフェースを制御し、以下の表示パラメーターの直感的調整が可能になります。

パラメーター	利用可能調整
Brightness (輝度)	モニターの輝度を増減する。 初期設定：最大
Contrast (コントラスト)	モニターのコントラストを増減する。 初期設定：グレイシェードが最高の性能
Clock (クロック)	パネルのピクセルドットクロックの微調整をする。 VGA 入力ビデオのみに利用可能
Phase (位相)	パネルのピクセルドットクロック位相の微調整をする。 VGA 入力ビデオのみに利用可能
Auto Adjust (自動調整)	入力アナログ VGA ビデオシグナルにシステムクロックを自動的に調整し、水平位置、垂直位置、クロック、位相メニュー項目に影響を及ぼす。 VGA 入力ビデオのみに利用可能
H-position (水平位置)	1 ピクセルごとに画像を表示部の水平に移動する。 初期設定：中心 VGA 入力ビデオのみに利用可能
V-position (垂直位置)	1 ピクセルごとに画像を表示部の垂直に移動する。 初期設定：中心 VGA 入力ビデオのみに利用可能
	スケーリング方法を実物大とアスペクト比の維持に切り替える。 初期設定：実物大
Aspect Ratio (アスペクト比)	実物大 – 入力ビデオの X 寸法と Y 寸法を (必要に応じて上下して) 表示のネイティブ解像度に縮小拡大する。 縦横比に合わせる – 横方向と入力ビデオのアスペクト比が 1920 x 1080 より小さいものと仮定し、入力ビデオの Y 寸法を (必要に応じて上下して) 表示の Y 解像度にスケールし、X 寸法をスケールして入力ビデオのアスペクト比を維持する (左右のブラックバーで残りの表示部を均等に埋める)。 アスペクト比を変更する場合はタッチスクリーンの再校正が必要になる場合があります。
Sharpness (鮮明さ)	表示画像の鮮明さを調整する。 初期設定：鮮明さ調整なし 非ネイティブ入力ビデオ解像度のみに利用可能

Color Temperature (色温度)	表示の色温度を選択する。利用可能な色温度は 9300K、7500K、6500K、5500K、およびユーザー定義。ユーザー定義のオプションが選択されたら、スケール 0 から 100 の個々の R/G/B ゲインを変更してユーザーが色温度を変更できる。 初期設定：R/G/B ゲインのユーザー定義をすべて 100 に設定する。
OSD H-Position (OSD 水平位置)	ディスプレイ OSD メニューの水平位置を調整する。 初期設定：中心
OSD V-position (OSD 垂直位置)	ディスプレイ OSD メニューの垂直位置を調整する。 初期設定：中心
OSD Timeout (OSD タイムアウト)	この調整によって最後に押したボタンから OSD が閉じるまでのタッチディスプレイの待機時間を調整する。調整可能範囲は 5 ~60 秒。 初期設定：15 秒。
OSD Language (OSD 言語)	OSD 情報を表示する言語を選択する。選択言語：英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語。 初期設定：英語
OSD Rotation (OSD 回転)	物理的位置に合うようにタッチディスプレイの取り付け位置を横方向と縦方向から選択する。これによって OSD テキストの回転を調整する。 初期設定：横方向
Recall Defaults (初期設定に戻る)	「Recall Defaults (初期設定に戻る)」を選択すると OSD 調整可能パラメーターとプリセットビデオモードのタイミングを工場初期設定値に回復する。 注記：この機能は OSD 言語設定に影響しません。4243L モデルの場合は、言語と回転に影響しません。
Video Source (ビデオ源)	モニターはアクティブビデオを VGA、DVI、HDMI コネクターでスキャンし続ける。この調整によって表示に優先度が与えられる入力ポートを選択する。 オプション：VGA 優先度、HDMI (ETX243L-XXWA モデル) または VGA 優先度、DVI 優先度 (ETX243L-XXAA モデル) 初期設定：HDMI (ETX243L-XXWA モデル) または DVI 優先度 (ETX243L-XXAA モデル)

OSD を通して調整したすべてのタッチディスプレイは入力したらすぐに自動的に記憶されますので、タッチディスプレイのプラグを外したり、電源をオン/オフにするたびにリセットする必要がありません。電源異常があっても、タッチディスプレイの設定は工場仕様に初期設定されません。

OSD および電源ロックアウト

「Menu (メニュー)」と「Down (下へ)」ボタンを 2 秒間同時に押し続けると、OSD ロック機能が有効/無効になります。OSD ロックが有効化されると、Menu (メニュー)、Up (上へ)、Down (下へ) あるいは Select (選択) キーを押してもシステムに何の影響もありません。

「Menu (メニュー)」と「Up (上へ)」ボタンを 2 秒間同時に押し続けると、パワーロック機能が有効/無効になります。パワーロックが有効化されると、電源スイッチを押し続けてもシステムに何の影響もありません。

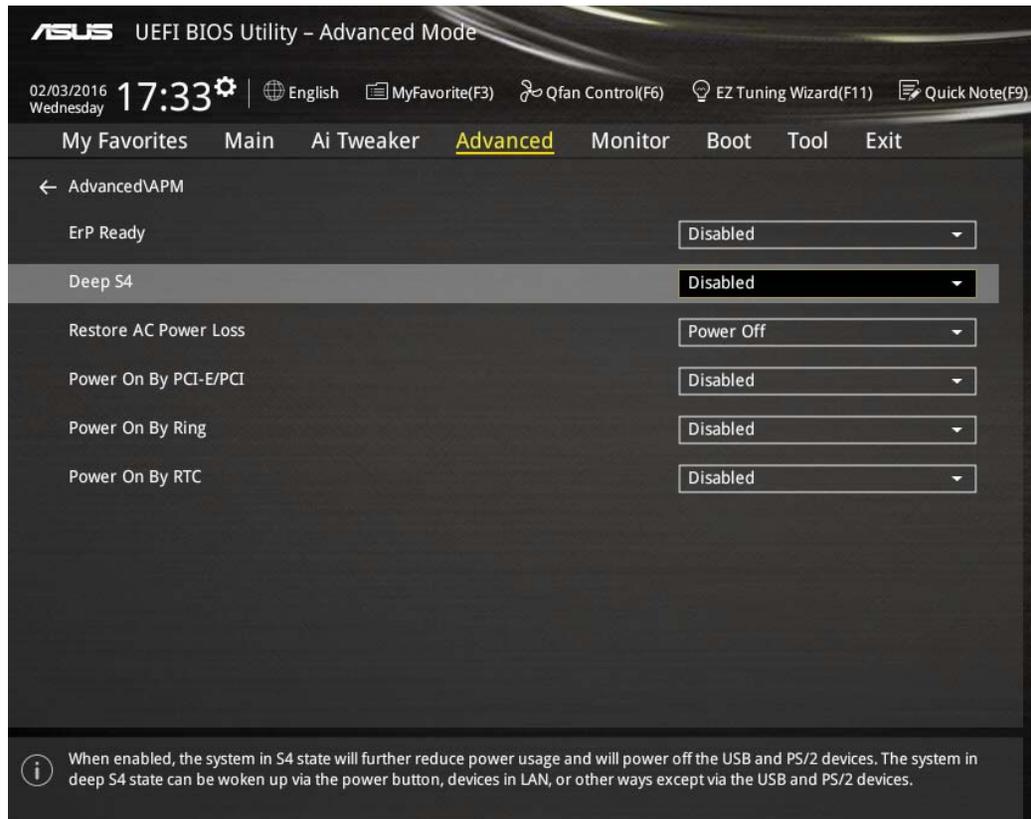
リアルタイムクロック機能

RTC 機能付きタッチディスプレイの場合、OSD メニューの「その他」セクションに RTC 設定が加わります。ここでは、追加の表示パラメータの調整を可能にするために、OSD ボタンを使用することができます。

パラメータ	利用可能な調整
夏時間	時間を夏時間の変更に対応するために、1 時間単位で変更することができます。
時刻設定	24 時間形式 (HH:MM:SS) で時刻を設定することができます。日付を MM-DD-YYYY 形式で設定することができます。
スケジュール	タッチディスプレイの自動オン/オフスケジュールの切り替えを有効/無効にします。オン/オフ時刻を 24 時間形式 (HH:MM) で設定することができます。OSD リモートで日付を選択することで、タッチディスプレイのオン/オフ替える日をスケジュールすることができます。

ウェークオンタッチ機能

タッチディスプレイは、PC がスリープモードにあるとき、ウェークオンタッチ機能をサポートします。これを有効にするには、S4 スリープサイクル中に BIOS 設定で USB サポートが有効になっていることを確認してください。



RTC 機能を有効にしたタッチディスプレイの場合、「Miscellaneous (その他)」を選択し、「Touch (タッチ)」設定を有効にすることで、OSD メニューで、「Touch on Sleep (タッチオンスリープ)」モードが有効であることを確認してください。

ウェークオンタッチに関するトラブルが修正されない場合は、最新の Elo ドライバーをダウンロードして、タッチディスプレイが、この機能を使えるようにしてください。最新のタッチドライバーをダウンロードする手順については、第 2 章の「タッチ技術ソフトウェアドライバーのインストール」のセクションを参照してください。

第5章：技術サポート

タッチディスプレイの不具合がある場合、以下の提案をご参照ください。

不具合が直らない場合は、最寄のディーラーか、Elo Touch Systems カスタマーサービスまでご連絡ください。

よくある問題の解決方法

問題	提案トラブルシューティング
システムを作動させてもタッチディスプレイが起動しない	電源ケーブルがきちんと接続されているか確認してください。
モニターの文字がぼやけて見える	OSD を使って輝度を増やしてください。 OSD を使ってコントラストを増やしてください。
モニターが空白状態になる	電源表示盤 LED が点滅している場合、モニターあるいはコンピューターモジュールがスリープモードになっているかもしれません。キーを押すか、マウスを移動するか、タッチスクリーンをタッチして画像が再表示されるか様子をご覧ください。 信号源装置のスイッチが入っているか確認してください。ケーブルの接続がゆるくなっていないか確認してください。
モニターに「許容範囲外」が表示される	コンピューターの解像度/タイミングをタッチディスプレイの許容範囲内になるように設定してください（仕様に関してはウェブサイトをご参照ください）。
モニターの表示画像が普通でない	コンピューターの解像度/タイミングをタッチディスプレイの許容範囲内になるように設定してください（仕様に関してはウェブサイトをご参照ください）。 OSD の自動調整機能を利用してください。
タッチの機能が作動しない	コンピューターに最新の Elo ドライバーがインストールされているか確認してください。最新 Elo ドライバー所定の校正を実行してください。
OSD ボタンや電源ボタンを押しても反応しない	OSD ロックや電磁ロックがオンになっているか確認してください。

技術サポート

技術仕様

www.elotouch.com/products
をご覧ください

オンラインのセルフヘルプ

www.elotouch.com/go/websupport
をご覧ください

技術サポート

www.elotouch.com/go/contactsupport
をご覧ください

世界中の技術サポートに関する電話番号については、本ユーザーマニュアルの最後のページをご覧ください。

第6章：安全 & 保守

安全

感電の危険を避けるため、以下の安全上の注意事項に従い、タッチディスプレイはユーザーが修理できるものではありませんので分解しないでください。インストールの際は、技術者の章に記載の特定環境条件を維持するように実行してください。

お手入れ/お取り扱い

タッチディスプレイが最適レベルで機能するように以下の点に従ってください。

クリーニングの前に AC 電源ケーブルを外してください。

表示ユニットのキャビネットをクリーニングする際には、中性洗剤で軽く湿らせたきれいな布を利用してください。

液体がタッチディスプレイの内側に入ったり上面にかかったりしない、十分に注意してください。液体が内側に入ってしまった場合は資格があるサービス技術者に点検してもらってからもう一度電源を入れてください。

スクリーンの表面を傷つけることがあるので、布やスポンジで拭かないでください。

タッチスクリーンをクリーニングする際は、窓ガラス用洗剤かガラス磨きスプレーをきれいな布やスポンジにつけて使用してください。絶対に、洗剤を直接タッチスクリーンにスプレーしないでください。アルコール（メチル、エチル、イソプロピル）、シンナー、ベンジン、研磨剤などを使用しないでください。

投影型静電容量タッチスクリーンの場合、ガラスの破損を防止するため、タッチディスプレイの移動または取り付けを行う際は、慎重に取り扱ってください。



電気装置および電子装置の破棄（WEEE） 指令



欧州連合では本ラベルは「本製品は家庭廃棄物として処理してはならない」という意味です。修理やリサイクルのために適切な施設で処理してください。

第7章：規制情報

I. 電気安全情報

メーカーのラベルに掲載の電圧、周波数、電流などの要件を必ず順守してください。規定の電源と異なったものを接続するなど要件に従わない場合、不適切な稼働、装置への損傷、火災の原因を招く恐れがあります。

本装置内にはユーザーが修理できる部品はありません。本装置が生じる危険電圧があり、安全上の問題を招く恐れがあります。修理は資格があるサービス技術者のみが行ってください。

装置を主電源に接続する前のインストールについてご質問がある場合は、資格のある電気技師またはメーカーにお問合せください。

II. 放射および電磁波耐性情報

米国内のユーザーに対する通知：本装置は FCC 規則第 15 章に定められたクラス A デジタル装置に関する規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに適合するものと認定されています。これらの規制要件は、住宅で設置した場合に有害な妨害から妥当に保護するためのものです。指示に従って本装置を取り付け、使用しなかった場合、電磁波を発生・使用し、外部に放射することがあり、無線通信に有害な混信を招く恐れがあります。

カナダのユーザーに対する通知：本装置はカナダの業界によって無線妨害規制で定められたデジタル装置から放出される電波雑音に関するクラス A に適合しています。

欧州連合のユーザーに対する通知：装置に付属の電源コードと相互接続ケーブルだけを使用してください。規定のコードやケーブル以外を使用すると下記の規格規定の電気安全、放出あるいは電磁波耐性に関する認証マークを損なう可能性があります。

- この情報技術機器（ITE）にはメーカーのラベルに認証マークを貼付するように義務付けられており、このマークは下記の指示および基準に従って検査されたことを意味します。本装置は欧州規格 EN 55022 クラス B の EMC 指令 2004/108/EC、および欧州規格 EN 60950 に掲載の低電圧指令 2006/95/EC の要件に従って検査されました。

すべてのユーザーに対する一般情報：本装置は無線周波数エネルギーを発生・使用し、外部に放射することがあります。本書に従って本装置を取り付けたり利用しなかった場合は、無線通信およびテレビ通信の電波妨害を引き起こす可能性があります。場所によって妨害の原因が異なるため、特定の場所によっては妨害が起きないという保証はありません。

1) 放射および電磁波耐性の要件に見合うため、ユーザーは下記事項を順守してください。

- a) 本デジタル装置と他のコンピューターを接続する場合は、付属の I/O ケーブルのみを使用してください。
- b) 要件を順守するために、メーカー指定のラインコードのみを使用してください。
- c) 要件順守の責任がある当事者によって明確に承認されていない装置を変更・修正すると、ユーザーは装置の操作権利を失う場合がありますのでご注意ください。

2) 本装置が無線あるいはテレビ受信、あるいはその他の装置の受信妨害を引き起こす原因であると思われる場合:

- a) 装置の電源をオフ/オンにして放射を確認してください。

本装置が妨害元であると確認される場合は、下記のいずれかの方法で妨害しないように修正してください。

- i) 妨害を受けたレシーバーからデジタル装置を離す。
- ii) 妨害を受けたレシーバーに対してデジタル装置を再配置（向きを変える）する。
- iii) 妨害を受けたレシーバーのアンテナを再配置する。
- iv) デジタル装置とレシーバーの分岐回路が異なるようにデジタル装置を違う AC コンセントに差し込む。